

# 根室市

～海と大地に根ざす「生産・交流都市」ねむろ～



根室市は北海道の最東端に位置し、北方海域の豊かな水産資源を背景に発展を遂げ、現在においても「さんま水揚げ日本一」を記録するなど、日本有数の水産都市であり、また、冷涼な気候と共に、ラムサール条約登録湿地である「風蓮湖」や「春国岱」をはじめ、野鳥や高山植物の宝庫としても世界に誇れる自然環境を残す自然豊かな街である。

また、北方領土返還要求運動原点の地として、一日も早い問題解決に向け、全国の先頭に立って北方領土返還要求運動に取り組んでいる。

関連指標	数 値
【人 口】	25,457 人
【面 積】	506.25 km <sup>2</sup>
【出生数】	136 人
【世帯数】	12,565 世帯
【合計特殊出生率】	1.67

(出典：住民基本台帳 (R2.1.1), 人口動態統計 (R2))

## 1 市の特徴

(1) 合計特殊出生率は根室管内3位の1.67で北海道平均1.30、全国平均1.43を上回っているが、市内人口は29,201人(平成22年国勢調査)から26,917人(平成27年国勢調査)と減少傾向にある。また、65歳以上人口が増加している一方で、0～64歳人口が減少しており、少子高齢化が進んでいる。

## 2 市独自の少子化対策・子育て支援施策・移住定住施策等

少子化対策に向け、子育て世帯における経済的負担軽減のほか、子ども向け屋内遊戯施設の整備等に取り組んでいる。

### (1) 学校給食費の無償化

小学校及び中学校、義務教育学校の学校給食費を無償化。

**(※道内35市で初)**

なお、食物アレルギーにより給食を食べることができない場合は、相当額を給付。

### (2) 出産祝金の支給

出生後初めて根室市の住民基本台帳に記録された乳児1人につき、出産祝金として10万円を支給。

### (3) 子ども向け屋内遊戯施設の整備

子育て世代を中心とした市民からのニーズが高い、子ども向け屋内遊戯施設を整備。

(※令和3年12月オープン予定)



「(仮称) ふるさと遊びの広場」

#### (4) 高等学校へのパソコンの導入

将来のまちづくりを担う人材を育むため、高校生の資格取得支援や卒業後の活用も見据え、一人1台のパソコンを貸与。



### 3 施策を実施するに至った背景及び今後の展望

根室市は、総合戦略において「住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標の一つとして掲げ、これまで、安心して子どもを産み育てられる周産期医療や小児医療体制の整備を進めてきたほか、「出産祝金支給制度」の創設や、子どもたちの健やかな成長に向け、学校給食の一層の充実と、市内小中学校の「給食費無償化」を実現し、子育て世代に対する経済的支援を図ってきたところである。

また、ソサエティ5.0時代に向け、次代を担う子どもたちの確かな学力向上に向け、小中学校でのICT機器の積極的な活用による教育環境の充実や、高等学校への一人1台のパソコン導入など教育環境の整備に取り組んだところである。

さらに、市民ニーズが高い「子ども向け屋内遊戯施設」の整備のほか、安定的かつ良質な幼児教育や保育を提供するための幼稚園教諭や保育士の人材確保など、子育て世代の多様なニーズに対応し、子育て環境の充実を図る取組を行っている。

今後においては、次代を担う子どもたちに対し、希望をしっかりと添え、故郷・根室を繋ぐことが出来るよう、子育てしやすいまちづくりの推進を図り、出生率の向上に取り組んでいく。